

そうじの力だより

VOL.254



支援レポート

素直な心が職場を良くする
～環境が整うと意識も変わる～

福岡県荏田町に本社を置く塩塚建設株式会社。港湾土木を専門とする建設会社です。港湾作業船を四隻所有し、クレーンオペレーターや潜水夫などの作業員を擁して、各地で浚渫や護岸工事などを行っています。

筆者がある所で行った講演をお聴きになった同社の社長と常務から、「ぜひウチでも指導してほしい」という依頼を受け、昨冬から環境整備(整理・整頓・清掃)の支援を行っています。

同社では、特に作業船の内部を、きちんとキレイに整えたいということで、手始めに、主に阪神地域の港で作業している船を対象にして、これまでに六回の研修会を行ってきました。

作業船に乗り込むのは、筆者も初めての経験でした。

当初の船の内部は、①不要なものが多い、②表示や標識がほとんどない、③出しっぱなしや置きっぱなしが多い、④床への直置きが多い、⑤モノを重ねて置いている、という状況でした。また、船員さんたちは、それを当たり前だと思っているようでした。

さっそく支援をスタート。まずはセオリ一通り、不要なものを捨ててもらいます。

倉庫には、作業に使うスパナや万力、ボルト・ナットなどが大量に乱雑に積まれていたので、それらをいったん全部出して、要るものと要らないものに仕分けをして、要らないものは処分してもらいました。多くのものを処分し

て、量を減らすことができた。

当初

は船内のあちこちに、ベタベタと様々な掲示物が貼ってあったのですが、それらもいったん全部剥がして、本来に必要なものだけにしてみました。

書類も、当初は、昔の仕事の図面なども大量に積んであったのですが、一つひとつ確認して、不要な書類は捨ててもらいました。

おかげで、船内はスッキリとした空間に生まれ変わりました。

次に、必要なものの定位置化です。

ここでは、どこに何があるのかは体で覚えろ」的



全員での仕分け作業の様子



キャップ開けをマグネットで定位置化した

な職人気質の世界でしたが、それを「誰でもわかる」世界に変えていこうということ、モノに表示を、そして置場に標識を施していきました。

そして、床への直置きを極力避けて、可能であれば壁に掛けるようにしていきました。



乱雑に重ねられていたワイヤーロープ



軽いものは壁に掛けるようにした

り、視認性と作業性がグッと上がりました。

シャックルやフックも同様、できるだけ壁に掛けるようにしました。



シャックルやフックも壁掛け式にした

当初は、飲みかけのペットボトルや手袋などがあちこちに置きっぱなしにされていたが、それを全員で「やめよう」と決意して、現在はほほほなくなっています。

以下、彼らの感想です。

「以前はモノを溜め込んでいたが、モノを捨てられるようになった」「もともと自分はそのうじが苦手だったが、キレイにするようになって、危ない箇所などに気づくようになった」「どこに何があるかわかるようになり、仕事がやりやすくなった」「モノの名前がわかるようになった」「使ったものを元に戻すようになった」「余計な書類を捨てて、スッキリした状態を維持できている」「今は常に身の回りを整理・整頓するように心がけている」。

今回の学びを基に、今後、他の船にも活動を拡げていく予定です。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

本当に大切なものに絞るといって、あれこれやらない、本業に徹する、

八月一日と二日、全国で中小企業診断士の一次試験が行われました。なぜこんなことを書くかというと、実は私、昨年度のこの試験を受けていたのです。

「えっ？」と思われる方もいるかもしれませんが。そうなんです。実は私、昨年、密かに中小企業診断士の勉強をして、試験に臨んでいたんです。

なぜそんなことをしたのか？私の仕事は、広い意味で企業の経営のお手伝いです。しかし、経営全般を扱っているわけではありません。環境整備（整理・整頓・清掃）という一分野における支援です。

一方で、経営者の皆さんのお悩みは様々です。広範囲にわたる経営の課題に対して適切な支援をしたい、という単純な発想から、中小企業診断士の資格を取りたい、と思うようになりました。

そこで一念発起し、ネット講座に入会して、約一年間、隙間時間にみっちり七科目を勉強し、昨年の八月二日と三日に、東京の試験会場で、一次試験に臨んだのです。



直前には、睡眠時間を削って勉強の総仕上げをしたので、気合十分。最初の科目は手こたえ十分だったのですが、異変は早くも二科目目に起きました。

二科目目は「財務・会計」です。問題用紙を開いたその瞬間、私の心は凍りつきました。「解ける問題が一つもない...」。

もともと、財務・会計は私の一番の苦手科目ではありました。でも、ずいぶん勉強を重ねてきたおかげで、模試においては合格点が取れていたのです。

しかし、ずらりと並んだ問題は、どれを見ても、まったく解けそうにありません。どうにか解こうとしますが、まったく答えにたどりつけません。そうしているうちに、どんどん時間は過ぎて、あつという間にタイムアップ。ほぼ白紙の答案用紙を提出する羽目になったのです（涙）。

ということ、私の中小企業診断士への挑戦は惨敗でした。

ここからは言い訳になりますが、失敗してよかったと思っています。

もとより、私に経営全般の支援はできないのです。たとえ試験に受かったとしても、財務やマーケティングといったいわゆる経営コンサルティングが、付け焼刃で出来るわけではないのです。

試験に落ちたことはすなわち、「お前は自分に与えられた環境整備の支援という使命を全うしなさい」という天からの声だったのだと解釈しています。

普段から私は、支援先の社長さんたちに対して、「あれこれやり過ぎず、捨てて絞ることが大事です。捨てることで、本当に大切なものに集中することができるようですよ」と説いています。身をもつてこのことを体験できたというわけです。

お恥ずかしい身の上話ですが、皆さんのご参考になればと思い、一年経ってカミングアウトいたしました...。（小早）

編集後記

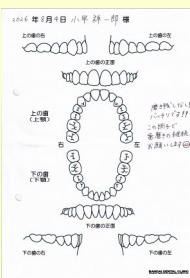
完璧！

4カ月に1回、歯医者に行って、歯科検診を受けています。

毎回、残留歯垢の検査をしてもらのですが、いつも「惜しい！」という感じで、1～2か所くらいの磨き残しがあります。

しかし今回初めて、1か所も磨き残しがなく、歯科衛生士さんから「小早さん、今回は完璧です！」と褒められました。

別に褒められるために歯磨きをしているわけではありませんが、やはりこうして褒められるとさらにモチベーションが上がるものですね（^^）。



飛鳥のつばやき

ラジオ体操

長男が小学校に入学してから、夏休みの早起き習慣を維持しようと思ってゆるーく始めた、公園での夏休みラジオ体操。

3年目の今年はなんと、わが子の友達のみならず、近所の中学生や、犬の散歩中のお姉さん、おじいちゃんがちらほら参加してくれるようになりました。

子どもたちの顔見知りも増え、継続すると良いことあるなあと、本当にありがたく思っています。

また来年も、楽しくできると良いなあ...(^-^)。 （大概）



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、実習、講義、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。（全国対応）